

商品開発女子部「ブランディング」勉強会

「ファンづくり」が鍵

八戸

八戸圏域版DMO(観光地域づくり推進法人)「VISIT(ビジット)はちのへ」は16日、八戸市のユートリーで、地元の新たな特産品開発を自指している「商品開発女子部」を対象に勉強会を開いた。同市出身のクリエイティブコンサルタント関橋英作さんを講師に招き、メンバーが「ブランディング」の重要性について理解を深めた。(松原一茂)

認知度アップへインスタ開設

女子部は、八戸学院大の学生や「八戸(はちのへ)サバ嬢」のメンバー、八戸圏域ゆかりの東京在住者ら計11人で構成。女性の視点や感性を持ち寄り、八戸圏域特有の資源を生かした商品づくりを進めている。勉強会はこの日が初回で、関橋さんは「商品をつくるから、ブランドをつくるへ」をテーマに講演。消費者に選ばれたい有名商品などを例に挙げながら、「ブランディングは人の気持ちとつながるマーケティング手法。その役割は大きくくなっている」と説明した。その上で、「ブランディングアップを図る方針だ。